

読者のみなさまへ

日経エコロジーは 2018年5月号から誌名を 「日経ESG」に変更します。

いつも日経エコロジーをご愛読いただき誠にありがとうございます。

1999年に創刊した日経エコロジーは、おかげさまで今年、創刊19周年を迎えます。

読者の皆様のご支援によるものと深く感謝いたします。

さて、日経エコロジーは5月号(2018年4月8日発行)から「日経ESG」に誌名を変更いたします。

企業経営を取り巻く環境は今、大きく変化しています。

「環境(E)」だけでなく「社会(S)」や「ガバナンス(G)」ESGを考慮した取り組みを進めることが
経営基盤の強化に欠かせなくなっています。

例えば、ESG投資の急拡大があります。

2017年に世界最大の公的年金基金を運用するGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が
ESG投資を本格的に開始したのを受け、国内外の投資家からの企業に対するESG情報開示の要請が強まっています。
さらに、SDGs(持続可能な開発目標)の急速な普及によって、社会課題の解決をどのように達成するのか、
企業の姿勢が厳しく問われるようになっていきます。

日経エコロジーは「日経ESG」に生まれ変わり、
環境はもちろんESGに関する情報をお届けいたします。どうぞご期待ください。
今後とも末永くご愛読いただきますよう心よりお願い申し上げます。

2018年2月

発行人

藤田 憲治

〈「日経ESG」の主な特集・連載予定〉

- 特集** ESG投資家に選ばれる情報開示
- 特集** パリ協定達成へ 変わるエネルギー戦略
- 連載** 東京五輪で勝つ!「持続可能な調達」
- 連載** 学び直し講座「ISO14001」 ほか

日経BP社